

Indies Brand

作品

NC39~NC42 前期専用ワイドツーリングキャリア

簡単脱着でバイクを普段使いからツーリング仕様の二刀流使いにする事が可能になります。

大変ワイドですが、ハンドル幅よりも狭い 600mmなのでスリ抜けも可能です。

細かな荷物を沢山積載する事も、大きなバッグを安定して積む事も可能になります。

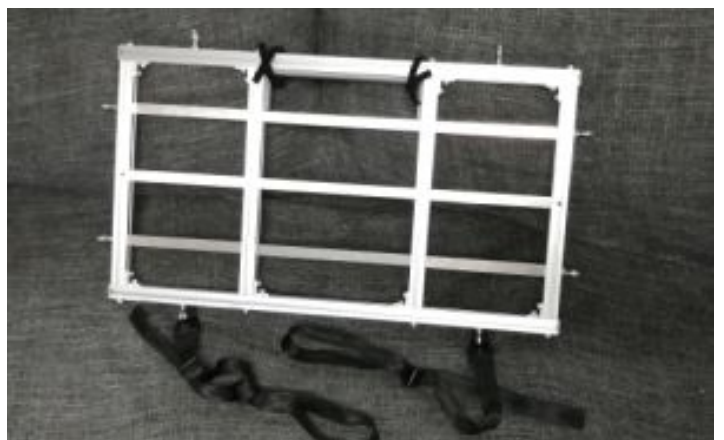
専用品ですが、カスタマイズ可能なアルミフレームなので、アイデア次第では

他のバイクに買い替えても使用できる事でしょう。

一生物として御使い頂けると大変うれしく思います。

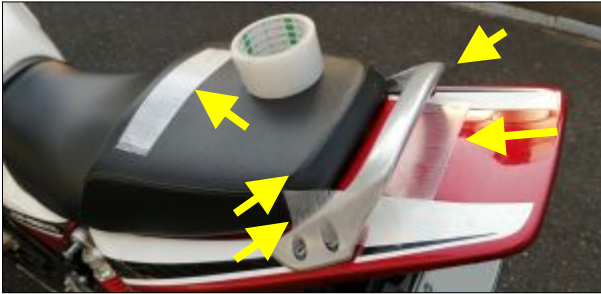
KIT 内容

アルミフレーム	1台
足ピン	4本
アイボルト	8個
グラブバープロテクター	貼り済
グラブバーベルト	2本
フロント固定ワンタッチベルトセット	2組



キャリアの取付け方

<下準備 保護>



そのままでも取り付け可能ですが、スレ跡など残るのが嫌な方は参考にして下さい。

養生テープを貼る。

①シート ②Grabバー左右 ③リアカウル上

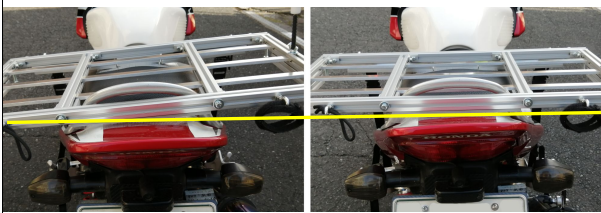
<キャリア取付け>



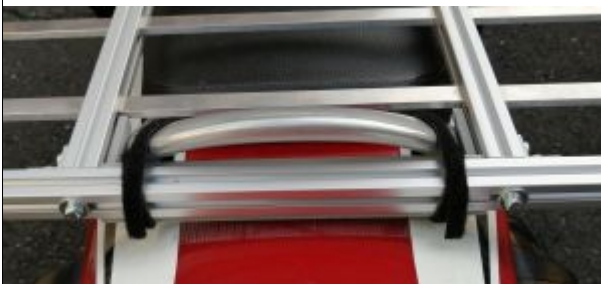
フレームをGrabバーに引掛ける。

ベルト長さを調節します。

◎シートが少し沈む位置で左右バランスを取ります。

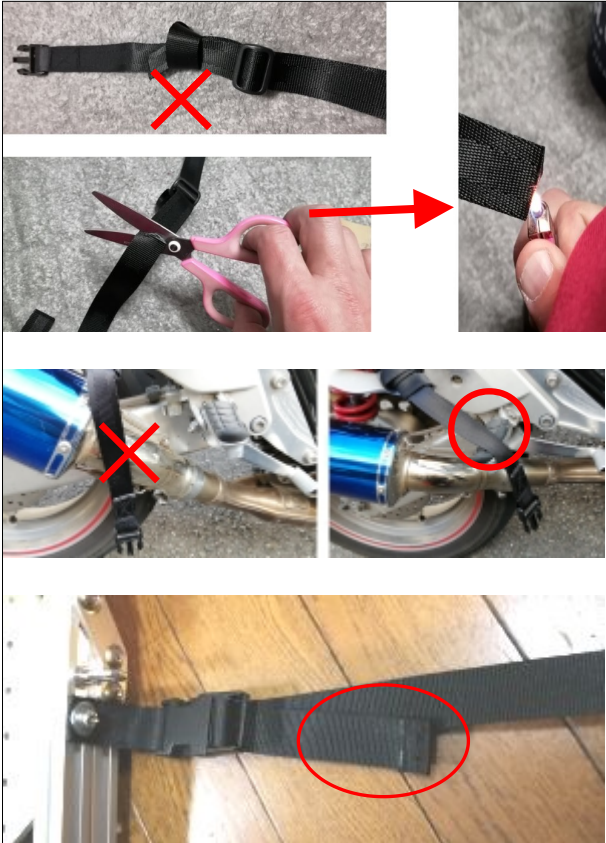


まっすぐに、成る様調節します。



Grabバーにベルクロを巻き、固定する。

< 要注意点 >



余ったベルトを束ねないで下さい。
走行中解けて事故になります。
5～10cmほど残して切り落として下さい。
切り落とした後は、火で炙って解け防止加工します。

外した時、マフラーでベルトを溶かさないう様注意する。
ステップに掛けておきましょう。

この部分を引張るとベルトが簡単に調整出来ます。

< 調整後の脱着 >



シート中の物を取る時や、キャンプ地で荷物の移動時は、このフックとベルクロ外すだけ。

ベルトを掛ければ荷物もキャリアごと運べます。

<標準のキャリアピン足>



標準でピン足が付いてますので、フレームに傷を付ける事無く置けます。



標準のピン足。



テーブル仕様に必要な OPTION の折畳み足セット。



テーブルとして使ってます。

< OPTION >

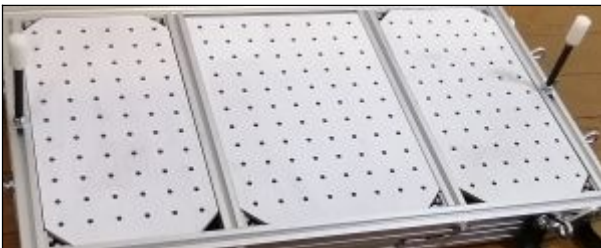


折畳み足 4脚 set ¥6000

・折畳み時 ベルクロテープで固定。

キャリアを大型テーブルとして使える。

天板を自作するか OPTION を購入する必要があります。



天板 set ¥2000

木製の板に防水加工をしました。

水で洗えます。

乾いた後は、防水スプレーかけて下さい。



荷物サポートバー set ¥2000

ステンレス寸切り M6 ネジをベースに作ってます。
フレームには標準でネジ切りを済ませてますので、
ねじ込むだけで使用できます。

荷物崩れ防止 すごいです。

自作も可能なのでトライして見て下さい！

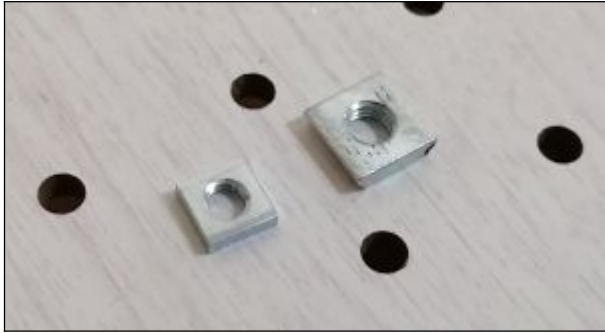


アイボルト 1個 ¥250

フックカ所を増やしたい時にどうぞ。

M6 高負荷用の四角ナット付き。

四角ナットの挿入はフレームを分解して入れなければならぬ部分も有ります。



高負荷用四角ナット M6 1個 ¥50

フレームに何か付けたい場合や、フックカ所を増やしたい時に使用します。

M6 は荷物を縛ったり、高負荷が掛かる部分に使用します。

取り付ける場所によっては、フレームを分解しなくてははいけません。



後入れ四角ナット M5 1個 ¥50

フレームに何か付けたい場合に使用します。

フレーム分解無しで後入れ出来ますが、掛りが少ない為、大きな負荷が掛かる事には使用できません。

ここからは販売品ではありません。

カスタマイズ例

< いろいろなアイデア紹介します >



メジャーテープ

メジャーに両面テープが貼られており、どこでも定規化する事が出来るテープ。

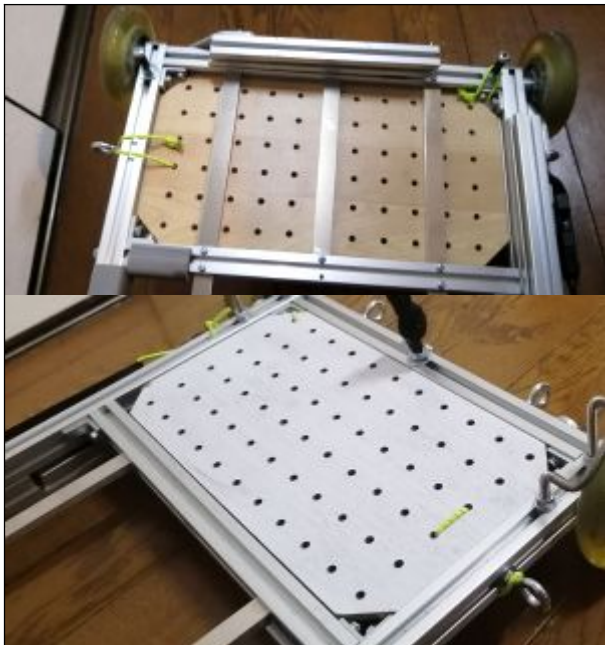
それをキャリアに貼れば、釣った魚のサイズがすぐに測れるよ！



フレームにフォーク

フォークやスプーンって直接置いたら不衛生だし場所取るし・・・と考えた時フレームに刺してみました。

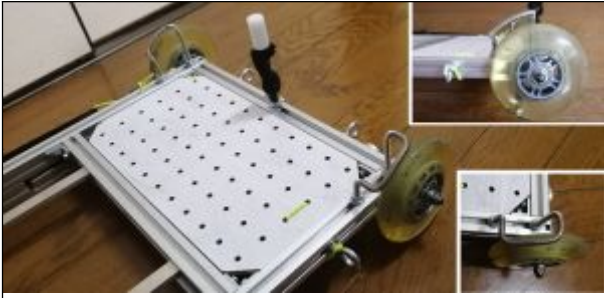
何とか使えるが少し不安定かな？



テーブルゴムバンド固定

外す事の少ない両サイドのテーブルを、脱着可能にする為、ゴムバンドにて固定しました。

真ん中のテーブルは、車載時グラブバーを掛けるので取り外さなくては行けないのでフリー状態です。



キックボード用のホイール装着

キックボード用のホイールφ100を付けてみました。
荷物が当たるのでフェンダーガードも装備。

総重量 27kg乗せたら駐輪所までの持ち運びはしんどい！



キャスター着けて正解でした！
現地でもバイク置き場と離れていたのが大活躍でした。

